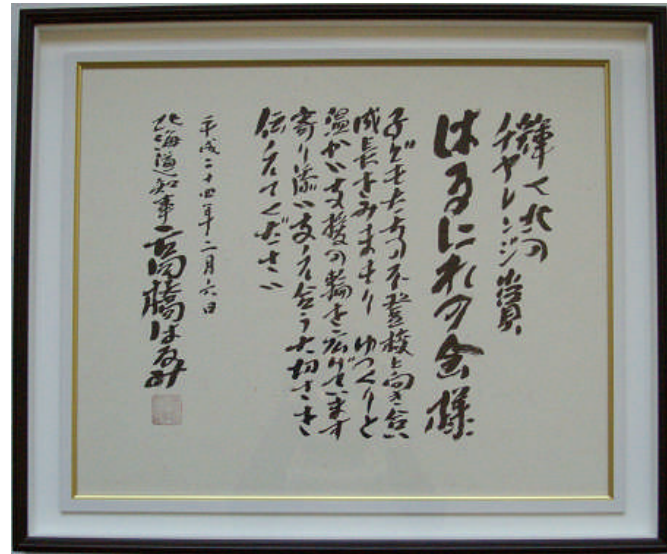


【表彰状】 揮毫 中野 北 溟 氏

◇ 輝く女性のチャレンジ賞 ◇
小梅 洋子 さん



◇ 輝く北のチャレンジ賞 ◇
不登校・登校拒否と向き合う親の会「はるにれの会」



【副賞】 道産くるみ材製 掛け時計

北海道男女平等参画 チャレンジ賞 平成23年度



かあちゃん食堂 ▶
「たまりば」
小梅洋子さん（左）

ボランティアの
お母さんたち
（江差町）

【これまでの受賞者】

○平成22年度

輝く女性のチャレンジ賞 … 惣万栄子さん（NPO法人「利尻ふる里・島づくりセンター」職員 利尻町）
輝く北のチャレンジ賞 … 東鷹栖食品加工販売協議会（代表 松倉洋子さん 旭川市）

○平成21年度

輝く女性のチャレンジ賞 … 梅木あゆみさん（有）コテージガーデン代表取締役 月形町）
輝く北のチャレンジ賞 … 本町かみさん会（会長 村田陽子さん 石狩市）

○平成20年度

輝く男性のチャレンジ賞 … 坂田秀明さん（置戸町観光協会事務局長 置戸町）
輝く北のチャレンジ賞 … レディース100年の森 林業グループ（代表 鷹嘴充子さん 南富良野町）
輝く北のチャレンジ支援賞 … 札幌市立藤の沢小学校保護者と教師の会（会長 星卓志さん 札幌市）

○平成19年度

輝く女性のチャレンジ賞 … 湯浅優子さん（「つつちゃん」と優子の牧場のへや」経営 新得町）
輝く女性のチャレンジ賞 … 谷あゆみさん（ばんえい競馬調教師、谷厩舎経営 帯広市）
輝く女性のチャレンジ賞 … 川上博美さん（株）コサイン社員 旭川市）

○平成18年度

輝く女性のチャレンジ賞 … 斎藤ちずさん（NPO法人「コンカリーニョ」理事長 札幌市）
輝く女性のチャレンジ賞 … 岡田ミナ子さん（有）トゥリリアム・オカダ・ファーム取締役 遠軽町）
輝く女性のチャレンジ賞 … 古内一枝さん（株）スポーツショップ古内取締役 札幌市）

○平成17年度

輝く女性のチャレンジ賞 … 田澤由利さん（株）ワイズスタッフ代表取締役 北見市）
輝く北のチャレンジ賞 … NPO法人お助けネット（代表 中谷通恵さん 白老町）
輝く北のチャレンジ賞 … 西川マザーウッズ（会長 船越孝子さん 静内町）

○平成16年度

輝く女性のチャレンジ賞 … 星川光子さん（NPO法人「いぶりたすけ愛」理事長 登別市）
輝く男性のチャレンジ賞 … 馬淵悟さん（北海道東海大学教授 札幌市）
輝く北のチャレンジ支援賞 … 株式会社アイワード（代表取締役 木野口功さん 札幌市）



◀ 不登校・登校拒否と
向き合う親の会
「はるにれの会」

例会に集まった皆さん
（帯広市）

北海道環境生活部 暮らし安全局暮らし安全推進課 男女平等参画グループ
TEL：011-204-5217(直通) FAX：011-232-4820
平成24年2月



ごあいさつ

北海道知事 高橋 はるみ

平成23年度の北海道男女平等参画チャレンジ賞を受賞された皆さま、おめでとうございます。

この賞は、それぞれの個性と能力を生かして活躍されている方々の活動を称えとともに、その活動を広く紹介することで、男女平等参画社会実現への気運を高めることを目指し、平成16年度に創設したものであり、これまで道内各地で様々な分野においてチャレンジを続ける方々を表彰してまいりました。

今年、「高齢者や障がい者のために地域交流の場づくり」、「不登校などに悩む親への支援と子どもの居場所づくり」という、新たなチャレンジに出会うことができました。今後も、創造と挑戦の精神をもった、こうした取組が道内各地に広がっていくことを期待しています。

受賞された皆さまにおかれましては、今後も一層ご活躍され、ますます輝きを増していられるよう、心からお祈り申し上げます。

受賞された皆さまへ

北海道男女平等参画審議会 専門部会
部会長 株式会社北海道アルバイト情報社 取締役 佐藤 正 啓

平成23年度北海道男女平等参画チャレンジ賞を受賞された皆さまに心からお祝い申し上げます。

今年度の応募者の取組には、「地域交流」「見守り」「思いやり」といった視点が多くみられました。地域で身近に住む人たちに目を向け、人とつながること、支え合うことの大切さをベースに、活動されている様です。

小梅洋子さん（江差町）は、「高齢者や障がい者を地域で自然なかたちで見守ろう」との思いから、自営の酒店の一角を改装、「かあちゃん食堂たまりば」を開業。過疎化・高齢化が進む地域を元気にしています。

不登校・登校拒否と向き合う親の会「はるにれの会」（帯広市）は、難しい課題に親も子も大変苦しむ中、当事者・支援者たちが、会を立ち上げ、子どもの笑顔や居場所づくりをめざし、長年にわたり地道に支援活動に取り組んできました。

元気や笑顔のある住みよい地域づくりに着実に取り組んでこられた皆さまの活動には、温かさ優しさがこもっています。

受賞者の皆さまのより一層のご活躍と他の多くの方々「これからのチャレンジ」を大いに期待しています。

《北海道男女平等参画チャレンジ賞とは》

職場、地域、家庭その他の社会のあらゆる分野で、それぞれの個性と能力を生かしてチャレンジし、活躍している男性や女性、団体・グループ及びそのようなチャレンジを支援している団体・グループを顕彰し、チャレンジの身近なモデルを示すことによって、男女平等参画社会実現への気運を高めることを目的としています。自薦・他薦を問わず候補者を募集しています。

賞の種類は次のとおりです。

- ・輝く女性のチャレンジ賞（受賞者が女性個人の場合）
- ・輝く男性のチャレンジ賞（受賞者が男性個人の場合）
- ・輝く北のチャレンジ賞（受賞者が団体・グループの場合）
- ・輝く北のチャレンジ支援賞（チャレンジを支援している団体・グループの場合）

◇ 輝く女性のチャレンジ賞 ◇

小梅 洋子さん
（かあちゃん食堂「たまりば」 江差町）

江差町市街地の北にある愛宕地区で、夫とともに酒店を営んできました。行動を起こすきっかけは、平成17年に開催された女性を対象にした起業セミナーへの参加でした。「ひとり暮らしの高齢者のために、地域の交流の場となる事業をやる」ことをセミナーで宣言し、その翌月には食堂の開業を決断。酒店の一角や事務所を改装し、近隣の主婦たちに声をかけ、同年9月、念願の「かあちゃん食堂たまりば」の開業にこぎつけました。

無理をせず息長く続けようという思いから、食堂の営業は週1回、地域のお母さんたちがボランティアで参加し、高齢者に経済的負担をかけぬよう1食300円という安価で家庭料理を提供しています。食堂には、元気でいること



を知らせるために来店するひとり暮らしの人などが集まり、高齢者の憩いの場になっており、いつも来る常連さんが顔を見せないと皆で気遣います。さらには口コミで食堂の評判が広がり、若い年代の客層も増えてきています。

酒店は平成20年に閉店しましたが、「かあちゃん食堂」は地域の方々の強い要望により続けており、「高齢者や障がい者を地域が自然なかたちで見守りたい」という温かな気持ちが多くの人に伝わり、面倒見のよい人柄から“肝っ玉母さん”として慕われています。また、商売や子育てなどで忙しかった合間にも大好きな江差追分の練習を続け、平成21年の江差追分全国大会熟年大会では見事に優勝を果たしました。

過疎化、高齢化が進む地域を気遣い、行動を起こし、地域に根付いた活動を続けてきており、今後も交流の輪を広げていくことが期待されます。



◇ 輝く北のチャレンジ賞 ◇

不登校・登校拒否と向き合う親の会「はるにれの会」
（共同代表 清水 マチ子さん、川尻 博恵さん 帯広市）

「はるにれの会」は、子どものことで悩む親の交流と学習の場として、平成5年6月に誕生しました。不登校・登校拒否、それに伴う障害（ひきこもり、心身症、家庭内暴力、非行など）に対する理解を深めるため、会員相互の交流や情報交換のほか、子供の居場所づくりや社会的理解を広める活動を行うことを目的に、親12人、教師4人、相談員4人が集まって会を立ち上げました。

スタート当時は会員自身が当事者でしたが、現在は、親たちが中心となって正会員・賛助会員合わせて約160家族が入会しており、例会の開催、会報「はるにれ通信」の発行、不登校を考えるつどい・講演会の開催、不登校相談会、電話や面接による個別相談、学校訪問など地道に活動を展開し、活動の輪を広げています。

親たちは当初、わが子が学校へ行けなくなったときの驚き、焦り、将来への不安などから、出口がまったく見えないトンネルの中で、自分を責め続けます。しかし、会の活動に参加していくうちに、親自身が気づき、子どもの悩みやつらさを知り、受け入れられるようになっていきます。親が元気になる、つらい現実に向き合えるようになれば、子どもも元気を取り戻し、自ら行動を起こします。セルフヘルプ（自分で自分を助ける）が会の基本です。

会員は、自分たちの経験を踏まえ、つらい思いをしている人たちの気持ちが少しでも楽になり、元気を取り戻せるようにと寄り添い、子どもたちの健やかな成長を願って、活動を続けています。

これからも、地域ぐるみで、子どもたちの成長を見守り、温かな支援活動を継続されることが期待されます。

